

# The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



## ご挨拶



国際歯科学士会 (ICD) 日本部会70余年の歴史は、素晴らしい先人達によって受け継がれ、ICDの崇高な理念とそれを実践してこられた力は、今も脈々と流れています。COVID-19による閉塞感も収束し、漸く以前のような活気が戻ってきました。昨年、4年ぶりに国際交流も再開し、10月には台湾部会の認証式に、11月には韓国での、国際理事会と認証式に出席してきました。特に韓国部会の認証式では、日本と台湾を含む3か国合同の認証式を企画して頂き、韓国部会の14名に加え台湾から2名、日本から1名がこの認証式に参加されました。久しぶりの再会に話題が尽きない光景がそこここで見られました。ICDという大きな組織でありながらフェローとして国境を越えた仲間意識の強さを感じさせられたと同時に、世界140か国以上のフェローに共通する理念の確かさも改めて感じてきました。

新しい年度を迎え、益々会員の皆様のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(一社)ICD日本部会 会長 鏡 宣昭

## 歴代会長のことば



長引くコロナ禍の中で学会活動や国際交流も制限を受けましたが、本ICD日本部会は隅田百登子前会長、鏡 宣昭現会長のもとで、活発な活動を続けられており、大変嬉しく思っています。

今年は辰年です。辰(龍)は架空の動物ですが、古来より中国で権力の象徴とされ、縁起の良い生き物とされています。我が国においても、神社仏閣の龍の彫り物や絵が信仰の対象になっています。

近所の東玉川神社の社殿には、約400年前の向拝殿の天井板に、みごとな火焰龍神像が水墨で描かれています。今年も初詣で、龍気の凄まじさが火焰となって立ち昇り、邪悪を祓うお姿に触れてきました。

また、年明けに久しぶりに台北を訪問して、龍山寺をお参りしました。ご存じのように、龍山寺はいたるところに龍が飾られているパワースポットです。元気を頂戴しました。

一方、正月早々に大地震が発生し、不安なスタートになりました。龍のパワーで、平穏を取り戻し、私たちの生活と歯科界がますます発展するようお祈り申し上げます。

第30代会長 宮崎 隆

### 2024年度 三大事業 開催予定

#### 第67回総会・認証式

2024年6月1日(土)  
ホテルメトロポリタン  
エドモント

#### 年末集会

2024年12月21日(土)  
帝国ホテル(東京)

\*皆様のご参加をお待ちしております\*





## ● 改革推進委員会

改革推進委員会は定款並びに規約、さらには諸問題に関して、執行部から諮問された事項を協議・検討し、答申しています。今期は大岡 洋常任理事、内田耕司理事、中村委員長、竹島明道副委員長、和久本雅彦委員、麻生幸男委員、照山裕子委員、阿部健一郎委員、北田真紀委員、原元信貴委員、安達一典委員、小林健一郎委員の12名の構成です。

現在は、ICD日本部会の社会的知名度を上げる目的と本会の社会奉仕活動活性化のため、ICDアワード及びICD特別賞を実施するための協議を重ね、第4回

ICD特別賞表彰式(2024年6月)の準備をしています。また年度末には受賞者の所属大学において、第3回ICDアワード(学生対象)の表彰式が開催されます。

なお、ICD日本部会の今後の活動目標を設定する目的で、全フェロー対象のアンケートを2024年3月に実施します。結果については、6月総会・認証式で公表予定です。

改革推進委員会 委員長 中村 朋美

## ● 広報・編集委員会

広報・編集委員会では、今村嘉宣常任理事、飯島裕之理事のもと、ICD日本部会雑誌の発刊、HP、Facebookの管理・運営を行なっています。7月には「国際歯科学士会日本部会雑誌第54巻1号」を発刊しました。特別企画では「歯科医業の節目を迎えて」をテーマに退職を迎えられた、あるいは退職を控えられた著名な6名の先生に寄稿をいただきました。そのほかにもICD国際会長を歴任された千田 彰先生に寄稿

いただくなど、充実した内容のものになりました。次巻の55巻1号でも、さらに充実をはかる予定です。フェローの皆様には、論文に限らずエッセイや趣味紹介などの多くの投稿をいただきますよう期待しております。どうぞよろしくお願ひ致します。

広報・編集委員会 委員長 堀江 卓

## ● 国際交流委員会

本年度は、4年ぶりの活発な活動の年となりました。2019年以来、コロナ禍により海外セクションとの直接交流が途絶えていましたが、ようやく韓国部会、台湾部会との相互訪問によるface to faceの交流が再開しました。

6月3日の当部会総会・認証式には台湾部会のYing-Kwei Tseng会長、Hsin-Cheng Liu 国際理事、Kenny Lee 事務局長が参加されました、また宮崎国際理事の案内で日大歯科病院の視察もされ、有意義な意見交換

がなされました。そして10月15日に台湾・台北市で開催の台湾部会総会・認証式、11月3～5日に韓国・ソウルでのICD100周年記念行事ならびに国際認証式には鏡会長はじめ4役

宮崎国際理事(左)の案内で日大歯科病院を視察(中央・Tseng台湾部会長)



台湾部会総会・認証式(2023年10月15日・台北市)



国際認証式にてニューフェロー代表がHo-Youl Chang 国際会長、鏡会長、Tseng台湾部会長の前で宣誓文を読み上げる(2023年11月4日・ソウル市)  
※役職はいずれもイベント当時のものです





## 根岸 慎一 フェロー

- ① 前島 健吾、吉川 英一
- ② 東京都
- ③ 日本大学／歯科矯正学
- ④ 旅行、キャンプ
- ⑤ このたびは、伝統あるICD日本部会

に入会させていただき、ありがとうございます。微力ではございますが、歯科医療の発展に貢献できるよう精進致します。ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



## 林 洋介 フェロー

- ① 堀口 裕司、常盤 肇
- ② 東京都
- ③ 鶴見大学／歯内療法
- ④ ゴルフ、ファッション、音楽、現代アート
- ⑤ この度、常盤・堀口両先生のご推薦を賜りまして入会させて頂くこととなりました。まだまだ若輩者では御座いますが、我が国における歯科医療、特に歯内療法分野の発展に微力ながら貢献させて頂ければと思いますので、何卒宜しくお願い致します。



## 樋口 昌男 フェロー

- ① 安藤 正実、東海林 弘子
- ② 福島県
- ③ 日本歯科大学／口腔インプラント、即時荷重、抜歯即時埋入等（日本口腔インプラント学会専門医、ICOI



フェロー)、補綴治療、全顎的治療（日本補綴歯科学会 指導医、専門医）

- ④ スポーツ全般、特に野球（プレー）、少林寺拳法（四段）、筋トレ、旅行、食べ歩き、など
- ⑤ この度、安藤正実先生と東海林弘子先生のご推薦により、伝統あるICDに入会をさせて頂くことになり、大変光栄に感じております。両先生とは、海外の学会やセミナーで良く一緒する機会がありました。この度はご推薦頂きありがとうございます。私は、1984年に日本歯科大学新潟歯学部を卒業後、12年間母校の補綴学第一に在籍し、その後福島市で開業致しました。大学病院時代は、主に全顎的な補綴治療や咬合、顎関節症等の臨床と研究に携わり、在籍時に歯学の学位を授かりました。また、その後金沢大学の環境医学教室の社会人大学院に入学し、医学の学位を授かりました。現在は、主にインプラント治療の臨床に力を入れており、今後一層精進したいと思っております。先生方にはご指導ご鞭撻を賜りたく何とぞよろしくお願い申し上げます。

## 山田 健太郎 フェロー

- ① 北村 晃一、宮崎 真至
- ② 東京都
- ③ 日本大学／保存修復、インプラント
- ④ 野球観戦、犬の散歩
- ⑤ 開業して20年が経ちましたが、現状に甘んじることなく、向上心を持っていろいろな分野を吸収していきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 第3回ICD特別賞 表彰式報告

2023年6月3日（土）第66回総会・認証式の中で、第3回ICD特別賞表彰式が開催されました。

ICD特別賞とは、歯科医学・医療を通じて国際的貢献を行なった歯科医師を表彰するもので、国際歯科学

士会に相応しい表彰制度であり、第3回は水谷忠司マスター（ミャンマー等でのボランティア活動）、須賀康夫フェロー（韓国での教育活動等）、千田 彰フェロー（国際会長並びにモンゴルでのボランティア活動等）



須賀フェロー（モリタ賞）



千田フェロー（デンツブライシロナ賞）



水谷マスター（ジーシー賞）

の御三方が受賞されました。

歯科界をリードする功績により受賞された3名の先生方に、改めて敬意を表したいと思います。また、ご協賛いただいた企業（ジーシー、デンツプライシロナ、

モリタ）の皆様には、心より御礼申し上げます。

改革推進委員会 委員長 中村 朋美

## 2023年度中部支部総会・学術講演・懇親会 報告

中部支部の2023年度総会・学術講演・懇親会が、2024年3月17日（日）にANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて開催され、中部支部フェロー16名、鏡会長を含めた執行部3名、理事6名が参加されました。

総会では2023年度事業・会計報告や中部支部所属の新フェロー（押村憲昭フェロー）紹介、2024年度中部支部活動が承認されました。

学術講演は押村憲昭フェローにより、「包括ケア時代における歯科治療のこれから」についてご講演いただき、高齢患者が増加する中、特に訪問診療を行なっていく上で、診療室内での考え方を変えていく必要がある事、多職種連携によってより良い結果が生まれる事、高齢患者さんのQOLをよく理解した上での補綴物製作（必要ない場合もあり得る）など、とても興味深い内容でした。講演後のディスカッションは時間が足りなくなる程盛り上がり、多くの質問に対して、押村フェローからの的確な回答をしていただきました。

懇親会は鏡会長の挨拶、須賀康夫フェローの乾杯で始まり、講演時には質問出来なかったフェローもこの場で押村フェローとディスカッションされていました。食事が一段落したところで、中部支部恒例の“一言・近況報告”が行われ、自身の健康の話・ご家族の話・趣味の話など会場全体が賑やかで、楽しい雰囲気に包まれ、いつもの和やかな懇親会となりました。

総会・懇親会が無事に終わったことに、ホテル関係者並びに中部支部会員に感謝とお礼を述べさせていただきます。次年度も開催致しますのでその時は是非ご参加ください。

中部支部 支部長 鈴木 佳弘



押村憲昭フェローの講演



参加フェローの皆様

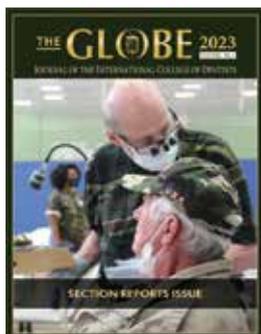
## 刊行物／ホームページ・Facebookのご案内

会誌



国際歯科学士会 日本部会雑誌

本部発行雑誌



The Globe

ホームページ



ICD日本部会ホームページ  
<https://www.icd-japan.gr.jp>

Facebook



ICD日本部会 Facebook